

学校給食の歴史

1889年(明治22年)、山形県鶴岡町[現 鶴岡市]の私立忠愛小学校で、経済的に厳しい家庭の児童を対象に無料で実施したのが、学校給食の始まりと言われています。





日々、いただいている給食は、野菜や果物を育てたり、肉や魚介類、調味料など、食材を用意してくださったりする人たち、調理してくださる人たち、そして、運搬してくださる人たちなど、多くの方々の思いや働きによるものです。「いただきます」「ごちそうさまでした」は、そうした多くの方たちへの言葉でもあります。

学校では、給食の先生方に、そして、給食当番さんたちに「ありがとう」の気持ちを伝えたいものです。

「福山市学校給食週間」です。こうした機会に、おじいさんやおばあさん、お父さんやお母さんの「お気に入りの給食献立」について聞いてみるなど、給食について話題にしてみてもいいと思います。

福山市学校給食週間

〔 **給食試食会** 〕 ※ 試食会は、1/5～1/16 に事前申し込みが必要です

1月26日(月) しんいち市民交流センター

1月27日(火) 東部市民センター

1月28日(水) 北部市民センター

1月29日(木) かなべ市民交流センター

1月30日(金) 沼隈支所

〔 **パネル展** 〕

1月24日(土)から、上の試食会場に加え、市役所本庁舎や西部市民センターでパネル展を行います。

ただし、終了期日、終了時刻に違いがあります。

 **詳細については、「給食だより」等でご確認ください。**